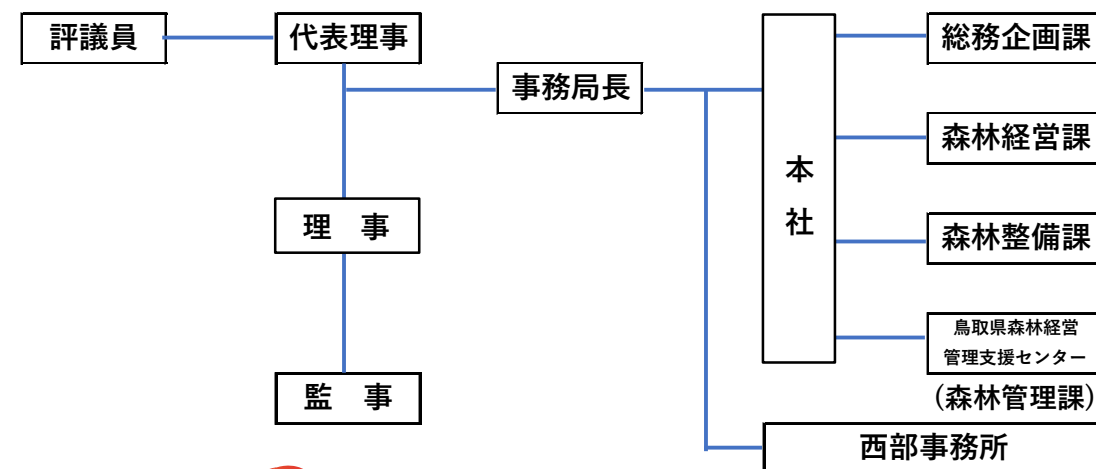


これまでの森林に関するノウハウと経験に加え、ICT 技術を駆使して次世代の林業へ



【組織図】 設立日：昭和41年4月1日
出捐金：1,000千円（鳥取県）



公益財団法人
鳥取県造林公社

〒680-0911 鳥取県鳥取市千代水4丁目37番地
鳥取県土地改良会館2階
TEL (0857) 30-7077 FAX (0857) 30-7078
ホームページ <https://www.tottori-zourin.or.jp/>

【西部事務所】
〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨140-1
(鳥取県西部総合事務所日野振興センター内)
TEL (0859) 72-1193 FAX (0859) 77-0250



ICT で進化する“見える林業”

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



分収林整備

間伐等により自然環境を守り育てる



土地所有者の方々への情報提供及び調整



森林を守り育て

美しい自然と地域の未来のために、

未来につなぐ

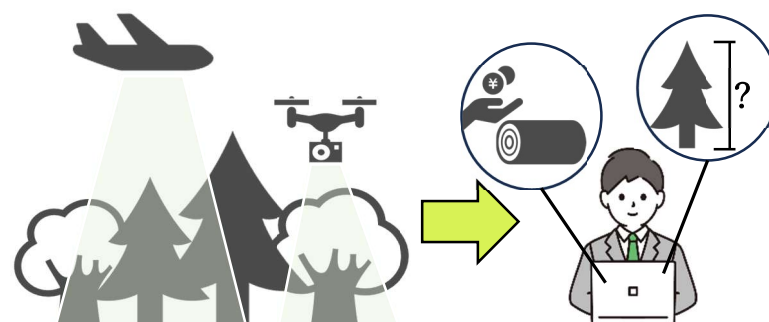
森林の保全と活用を進めています

▶ 公社事業推進の意義

- きれいで美味しい水の産出
- CO₂吸収による地球温暖化の抑制
- 土砂崩れ・洪水等から地域を守る防災
- 鳥取県産材の安定供給
- 林業で働く場を地域に創出

▼ ICT 導入による効率化と安全性

- レーザ航測データで「地形・樹種・材積」を可視化
→ 設計精度 UP / 現場時間の大幅削減
- 森林クラウドシステムで関係者とリアルタイム共有
→ 工程管理・収益シミュレーションが容易に
→ データと技術で「スマート林業」を実現中



J-クレジットの創出・販売

森の価値を見える化



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



J-クレジット売買契約締結式▲

地域経済を支える森林資源のマネジメント 森林経営管理支援センター

県内の各市町において、手入れの行き届いていない森林については、森林経営管理制度を活用して所有者に代わって 市町村が公的に森林整備を行う新たな森林管理の取り組みが進められています。

公社内に鳥取県と協働で森林経営管理支援センター（森林管理課）を設置し、市町村の森林経営管理制度推進の取り組みを支援しています。

詳しくは、造林公社（裏面の連絡先）へお問い合わせください。

▶ 森林経営管理支援センター打ち合わせの様子



▼ J-クレジット制度

この制度は、再生エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による CO₂ 排出削減、そして適切な森林管理による CO₂ 吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

創出されたクレジットは、国レベルでのカーボンニュートラル行動計画の達成や、カーボン・オフセット（CO₂ 相殺）など、多岐にわたる目的に活用できます。

平成 23 年に鳥取県造林公社は、県西部地域で大山の森の水源地としての機能と森林の CO₂ 吸収機能に焦点を当て、「大山の森 森林吸収プロジェクト」に取り組み、水源地の間伐を通じて 4 千トンのクレジットを取得しました。

また令和 6 年に県東部及び中部地域の公社造林地で新たなプロジェクト「鳥取県造林公社 J-クレジットプロジェクト」の登録を受け、認証期間（令和 5～12 年度）の累計として 8 万トンのクレジットを取得する計画です。

今後とも森林の持続的な管理を通じて CO₂ の吸収量を増加させ、環境保全への貢献を一層強化していきます。



／ 森林経営管理制度と支援センターの関係 ／

